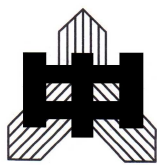
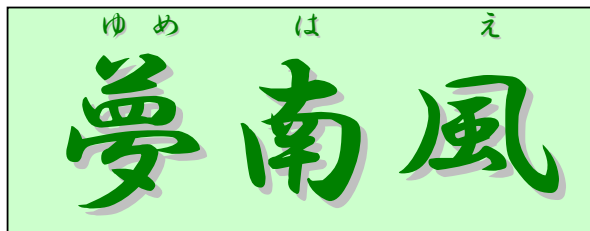


創立77周年



誠実 勉学 健康

学校便り10月号



令和5年10月31日発行

鹿児島市立河頭中学校

鹿児島市犬迫町1168

Tel 099-238-2663

生徒数 合計81名

1年32名, 2年26名, 3年23名

「負けない心」

校長 瀧脇 広智

秋だというの朝晩が急に冷え込んでまいりました。生徒の制服も夏服から中間服に変わり、季節の移り変わりを感じます。

さて、10月21日(土)は、父親セミナー・家庭教育学級合同の妙円寺詣りを実施しました。4年ぶりの開催とあって、参加者は18人でしたが、学校から島津義弘の菩提寺・妙円寺跡の徳重神社までの18kmの道のりを4時間かけて完歩することができました。妙円寺詣りは、鹿児島の三大行事といわれ、「妙円寺詣り」、「赤穂義臣伝輪読会」そして「曾我どんの傘焼き」の3つをいいます。関ヶ原合戦で敵中突破し、何とか帰国した島津義弘の苦難をしのぶとともに伝統ある郷土の行事をとおして、心身を鍛えその気風を伝承するのが目的となっています。昨年よりもにぎやかな境内の雰囲気がありました。歩き終えた生徒がそれぞれに神社に参拝する姿を見ると、同行してよかったなあといつも思います。時は、1194年のこと(源頼朝・鎌倉幕府等の時代)、その昔、薩摩では「郷中教育」という独特の教育制度がありました。年下の者は年上の者に従い、年上の者は年下の者に教育をし、武士としての教養、人徳、武芸などを学び人間性を磨いたのです。その教えの中に「負けるな、嘘をつくな、弱い者をいじめるな」という3つがあります(神社の掲示板でよく見ます)。当たり前のことですが、今の世にとっても大切な教えです。人は、できなかったこと、自分に都合が悪いことがふりかかると、ついつい他人のせいにしたがるものです。本校の生徒には特に「負けるな」を強調したい、「弱い自分に負けるな」ということです。人はできなかつたり、うまくいかなかつたりすると何かにつけ言い訳をします。原因は全て自分にあるということです。本校の生徒には、言い訳をせずこれまでの自分を見つめなおして、夢に向かって粘り強く負けない河頭中の生徒であってほしいと思います。保護者、地域のみなさまにおかれましても御家庭や地域において温かくそして厳しく生徒の成長を見守ってくださるようお願いいたします。11月7日までは、地域が育む「かごしまの教育」県民週間ですので、生徒たちの日頃の様子も御参観ください。



10月27日の文化祭では、どの学年も展示や舞台発表が充実し、大成功だったようです。また、生徒たちは、体験を通して成長しました。11月15日～17日は期末テスト、生徒たちは気持ちを切り替えて、文武両道、体と心を鍛え、勉学に励み続ける河頭中生であってほしいと思います。

文化祭

のーコマ～コガ中写真館～



【3年生部員ラストステージ・吹奏楽部】



【初めての試み・ビブリオバトル】



【初めての学級劇・1年生】



【平和について考えました・2年生劇】



【大団円・3年生劇】

なることを職員一同、期待しています。さて、二学期の大きな学校行事も残すところ学期末PTA（3年：11月11日，1・2年：12月1日），持久走大会（12月9日）の三つになりました。こちらへの御参加と御理解・御協力もよろしくお願いいたします。

また，来年度PTA役員選考の時期ともなりました。11月2日の第三回役員会で承認をいただきましたら，1～2年生の保護者の皆様へ案内文を発送いたします。御一考のほど，重ねてよろしくお願いいたします。

先日，開催された第77回文化祭。各種作品展示に多様な舞台発表，短い準備期間ではありましたが，充実した内容になったかと思います。生徒たちの確実な成長の軌跡を感じる行事となりました。PTAバザーも含め，多くの参観をいただき誠にありがとうございました。来年度も素晴らしい文化祭に